



震度5強を想定した総合防災訓練 中学生が避難所運営

9月12日(土)、市内の指定避難所38カ所、自治公民館などで、地域住民や児童・生徒、市職員、関係機関が参加する総合防災訓練を実施します。

震度5強の地震を想定し、避難行動を確認するほか、メイン会場の1つである日の里中学校では、平日の日中の災害を想定し、中学生が主体となって避難所の開設・運営に関わり、受付や誘導、防災資機材の取扱い、防災備蓄食の炊き出しなどを実践します。



《中学生による避難所開設訓練の様子》



《昨年の様子》

【総合防災訓練 概要】

日 時: 9月12日(土) 9:00~

場 所: 市内の指定避難所38カ所、自治公民館など

メイン会場...日の里中学校(日の里8-8)、河東中学校(城西ヶ丘6-15-1)

参加者: 地域住民、児童・生徒、市職員、関係機関(宗像消防署、陸上自衛隊飯塚駐屯地など)約10人

内 容: (日の里中学校)震度5強を想定した避難訓練、中学生による避難所開設・運営訓練

(河東中学校) 震度5強を想定した避難訓練、防災資機材の取扱い訓練、

防災備蓄食の炊き出し訓練、自衛隊等の車両展示 など

【補足】

宗像市では、地域全体の防災対応力を高めるため、毎年9月の第2土曜日に総合防災訓練を実施しています。地震は発生する時期や場所を選びません。特に平日の日中に地震が発生した場合は、地域住民に加え、中学生が避難所運営や地域支援の役割を担うことも想定されます。このため、今年度はメイン会場となる日の里中学校で避難所の開設や資機材の取扱い、炊き出しなどを中学生が実際に体験し、地域住民と一緒に災害発生時の役割や行動を確認します。

【問い合わせ先】 ご取材いただける場合は、事前にご連絡ください

宗像市危機管理課 担当: 森、末弘 TEL: 0940-36-5050